

第六十四回  
帝國議會  
貴族院

# 大正二年法律第九號中改正法律案特別委員會議事速記録第二號

昭和八年三月十四日(火曜日)午後一時三十分開會

○委員長(富谷銆太郎君) ソレデハ是カラ此委員會ヲ開ク積リデゴザイマス、前會ニ引續イテ擔保附社債信託法ノ法案、此方ニ付テ前會ニハ政府委員ノ御意見ヲ聽キマシテ、皆様方ノ御意見ハマダ聽ク時ガナカッタノデアリマス、今日ハ其意見ヲ伺フヤウニ致シマセウ、尙ホ併シ委員諸君ノ司法省ニ對スル御質疑デモアリマスナラバ、ドウゾ御慮慮ナク、早ク提出ヲシテ頂戴シタイト思ヒマス、ソレデハ是カラ開キマス

○岸清一君 委員諸君ニ印刷ニ付シテ御廻シテ置イタ質問ガ三點アリマス、之ヲ政府委員ニ質シタイト思ヒマス、書面ニ書イテアリマスガ、第一ハ此法律案ハ擔保附社債信託法中改正法律案ト書イテアリマスケレドモ、法案ノ末文ヲ見マスト、鐵道抵當法竝ニ登錄稅法改正案ヲ包含シテ居リマスカラ、從テ此法律案ハ右三箇ノ法律ノ改正案トシテ取扱ハレルモノト信ジマスガ、政府ハドウ云フ御意見デアリマスカ  
○政府委員(長島毅君) 仰セノ如クニ誠ニ三箇ノ法律案デアリマスガ、是等ノ後ニ鐵

道抵當法、登錄稅法改正案ヲ此擔保社債信託法ノ改正法律案ノ附則ニ入レテアリマス結果、法案ノ名前ト致シマシテハ擔保附社債信託法中改正法律案トナッテ居ルノデアリマス、結局實質ト形式ノ問題ニナリマスガ、實質ハ仰セノ如ク三箇ノ法律ノ改正案デアリマスケレドモ、形式ハ擔保附社債信託法中改正法律案ノ附則ノ中ニ入ッテ居リマス

○岸清一君 サウ致シマスト、只今ノ御說明ニ依リマスト、鐵道抵當法ノ三十條、ソレカラ登錄稅法ノ改正ヲモ本法ノ附則デ以テ改正シヤウト、斯ウナリマスカ  
○政府委員(長島毅君) 左様デアリマス  
○岸清一君 ソンナ例ガ外ニアリマスカ  
○政府委員(長島毅君) 能クソレハヤッテ居リマス  
○岸清一君 外ノ法律ヲ一方ノ法律ノ附則デ以テ改正スル、サウ云フ先例ガ幾ラモアリマスカ  
○政府委員(長島毅君) ゴザイマス  
○岸清一君 ソレカラ第二ノ質問ハ、此法律案ニハ「社債ノ總額ヲ數回ニ分チ」云々ト

書イテアリマスガ、現在我國ノ經濟界ニ於テハ「回」ト云ハナイデ「組」ト云フ言葉ヲ使ッテ居リマス、組ヲ數回ニ分ッテ殖ヤスト云フ場合モアルヤウデアリマス、ノミナラズ、サウ云フ場合モアリ得ルト云フコトガ想像出來ヤウト思ヒマスガ、此法律案ニ於テハ「回」ト云フ代リニ「組」ト云フ言葉ヲ使ッタ方ガ便利ダラウト思ヒマスガ、政府ノ御考ハ如何デアリマスカ  
○政府委員(長島毅君) 是ハ文字ノ問題デアリマスガ、只分ケテヤリマスカラ「回」ト云ッタ方ガ別々ノ觀念ガシテ、「組」ト云フト一ツノ回ヲ幾ツニモ分ケルヤウニ感シハシナイカト思ッタノデアリマス、尙ホ此點ハ大藏省ノ方カラ御説明ヲ……  
○岸清一君 組ヲ何回ニモ分ケテ發行スル場合モアリ得ルノデアリマスカラ、スルト「回」ノ代リニ「組」ト云フ字ヲ使ッタ方ガ宜イト思ヒマス  
○政府委員(長島毅君) ソレハ解釋ノ仕方デアリマスケレドモ、「組」ト云フ一ツノ固マッタモノヲ分ケルノデ、「回」ト云ッタ方ガ別々ニ發行スルト云フヤウナ感シガシナイカト思ヒマス

○岸清一君 今經濟界デハ「組」ト云フ言葉ヲ使ッテ、「回」ト云フ言葉ハ使ッテ居リマセヌ

○政府委員(大野龍太郎君) 數回ト云フ文字ヲ數組ニ直シマスコトニ付キマシテハ、大藏省デハ斯ウ云フ風ニ考ヘテ居ッタノデアリマス、勸業債券ヲ出シマスノニ一度ニ出シマス場合デモ、其間ニ抽籤ノ便宜カラシマシテ、一ノ組、二ノ組、三ノ組ト云フ風ニ分ケマシテ、十組位出スコトガアリマスノデ、詰リ一千萬圓ノ勸業債券ヲ一度ニ出シマス場合ニ於キマシテ、抽籤ノ便宜カラ致シマシテ、一ノ組カラ二ノ組、各一萬圓ナラ一萬圓ト云フ數ダケ出シマシテ、サウシテ抽籤ヲ致シテ居リマス、サウシテ一ツノ番號ヲ引キマセバ、ソレガ一ノ組ノ、例ヘバ二百番デモ、二ノ組ノ二百番、三ノ組ノ二百番ニモ同時ニ當テ嵌ルヤウニナッテ居リマスノガアリマスノデゴザイマス、サウ云フ關係カラ致シマシテ、此「組」ト云フ文字ハ、サウ云フコトサエナケレバ、甚ダ適當ナ言葉デアラウト思ヒマス、是ハ大變結構ナ言葉デゴザイマスガ、現實ノ問題ト致シマシテハ、勸業債券等ニサウ云フ實例ガ

シマシテハ、勸業債券等ニサウ云フ實例ガ

アリマスノデ、數回ニ分ケテ出ス、數度ニ分ケテ出ス場合ニ於キマシテハ、サウ云フモノト混合ヲ致サヌヤウニ「回」ト云フ文字ヲ使ツタ方ガ、或ハ妥當デナカラウカト云フノデ數回ニ分チ發行スル云々ト云フ風ニ規定ヲ定メタ方ガ宜カラウト、斯ウ存ジタ次第デゴザイマス

○岸清一君 今ノ勸業債券ノ例ハ、マア分リマシタガ、私ノ申上ゲルノハ、此擔保附ノ社債ニ付テハ、是ハ「組」ト云フ言葉ヲ使ヒタイノデアリマスガ、強イテ私ノ議論ヲ固執スル譯デアリマセヌ、ソレカラ第三ノ質問、此法律案ヲ見マスルノニ社債ノ總額ヲ數回ニ分チ發行シタ場合ニ於テ、受託會社ハ最初ノ發行ニ干與シタ會社ニ限ツテ、從テ第二回以後ノ發行ニ際シテ、受託會社ノ變更ナンカト云フコトハ豫想ガ出來ナイヤウデアリマスガ、若シ此變更ガ、即チ受託會社ガ複數デアリ得ルト云フコトナラバ、此法案ノ規定ハ大分疑義ガアル規定ト考ヘマスガ、御急ギノ立法デアリマスカラ、

是ハ受託會社ト云フモノガ變更ガナイト云フコトヲ豫想シテ作ツタモノデ、ソレデモマア我慢ガ出來ヌコトモナイト考ヘマスガ、是ニ對スル政府ノ御意見ヲ拜聽シタイト思ヒマス

○政府委員(長島毅君) 仰セノ如クニ是ハ矢張り受託會社ハズト一本デ行クト云フ積リデアリマス、其結果何條デアリマシタカ、此受託會社ト意見ガ合イマセヌヤウナ場合ハ、債權額ヲ、三十一條ノ改正デ債權額ヲ減ジマシテ、サウシテ其委託會社カラ離レテ二番抵當ニソレヲ用ユルヤウナコトガ出來ル方法ヲ作ツタノデアリマスカラ、デスカラ受託會社ハ一本ト云フ積リデアリマス

○岸清一君 分リマシタ、私ノ質問ハ是デ終リマシタ

○委員長(富谷銈太郎君) 外ノ委員諸君ニハ如何デゴザイマスカ、御質問デモアリマシタラ此際、丁度宜シウゴザイマスカラ、御提出ヲ願ヒタイデス、他ニハゴザイマセヌカ……、御質疑ハゴザイマセヌカ……

○岩田宙造君 私モ一ツ伺ッテ置キタイノデアリマスガ、此信託法ノ八十五條、八十五條ノ場合デアリマスガ、是ハ支拂ヲ猶豫シ、ソレカラ不履行ニ依ッテ生ジタ責任ノ免除、又ハ和解ヲナス場合ニ關スル規定デアリマスガ、是ハ同條ニ依リマスルト、總社債ニ付テノミ社債權者集會ノ決議デ和解トカ、猶豫トカ云フコトガ出來ルコトニナツテ居ルノデアリマスガ、此條文ト、數回ニ

分チ社債ヲ發行スル場合トノ關係ヲ考ヘテ見マスルト云フト、茲ニ言フ總社債ト云フモノハ矢張り各回ノ社債デナクシテ全體ノ社債ヲ言フ意味ニナルカト思フノデアリマスガ、其點如何デゴザイマセウカ

○政府委員(長島毅君) 御想像ノ如ク是ハ總社債ダケニ付テ許シテ居ル積リデアリマスガ、或ハ併ナガラ各回ノ社債ニ付テ各別ニヤッテ宜イチャナイカト云フ、サウ云フ途ヲ聞イタ方ガ宜イト云フコトハ無論御尤モト思ヒマスガ、前ニ申シタヤウニ色ミノ點ヲイデルト非常ニ何デシテ暫定的ニ……其積リデアリマス

○岩田宙造君 サウナリマスト、例ヘバ一回ノ社債ガ期限ガ來テ其支拂ヲ猶豫シテヤルトカ、或ハ責任ヲ免除シヤウト云フヤウナ場合デモ、其利害關係ノナイ後カラノ二回三回ノ人ヲ皆一緒ニシタ社債權者集會デナケレバ出來ナイヤウニ思ヒマス、ミナラズ其一回ダケノ猶豫ト云フコトハ、是デ認めラレナイコトニナツテ居ルヤウデス、茲ニ總社債ト云フノハ、マア三回ニ分チ發行スル場合ニハ、三回ノ總テノ總社債デアリマスカラ、三回ノ總テノモノヲ猶豫スルト云フコトナラ此案文デ出來マスガ、一回ダケヲ猶豫シテヤルト云フコトハ出來ナイコトニ

ナリマセヌ

○政府委員(長島毅君) 仰セノ如ク其點ハ多少不完全デアラウト思ヒマスガ、サウ云フコトダト思ヒマス

○委員長(富谷銈太郎君) 外ニハ御質疑ハゴザイマセヌデスカ、御質疑及ビ御意見ハ如何デスカ、モウ此法案ニ付テハ……

○岸清一君 意見ヲ申上ゲテ置キタイト御述ベテ願ヒマス

○岸清一君 政府委員ノ希望モアリマスカラ、成ルベク法文ニ手ヲ付ケナイデ濟シタイト考ヘテ居リマシタケレドモ、一番大事ナノハ第六十七條ノ二デアリマス、之ニ「社債ノ總額ヲ數回ニ分チ發行スル場合ニ於テ社債權者集會ノ決議カ或ル回ノミノ社債權者ニ損害ヲ及ボスヘキトキハ其ノ回ノ社債權者ノ集會ノ決議アルコトヲ要ス」云々、此規定ガアリマスガ、ドウモ此規定ダケデハ如何ニモ漠然トシテ居リマスルシ、且ツ此社債權者集會ノ決議ト云フモノハ、多數決ニ依ッテ決議スルノデアリマスカラ、或一部ノモノガ多數決ノ決議ニ依ル所ノ損害ヲ受ケル場合ガアリ得ルノデアリマスカラ、ソレヲ防止セムガ爲ニ斯ウ云フ規定ヲ書イタト云フコトハ結構ノコトデアリマス、ケ

レドモドウモ或場合ニ於テハ或回ノ社債權者集會ガ無理ナコトヲ言フテ、擔保權ノ執行ヲ妨ゲルヤウナコトガアリ得ルノデアリマス、サウナ、テ來マストドウモ此擔保權ノ執行ト云フコトハ、非常ニ肝腎ナコトデアルカラ、社債權者集會ノ決議事項トシテハ最モ肝要ナモノデアリマス、但書ヲ加ヘテ、正シイ擔保權ノ執行ニ付テハ此ノ限リニ在ラズト云フヤウニ直シタラ、大抵立法ノ趣意モ屆クコトデアラウカト思ヒマス、ソレカラ後ハ戻リマシテ、十九條ノ四ノ第二項デアリマス、此十九條ノ四ノ二項ニハ七十七條ノ二項ノ規定ヲ準用イタシテアリマカ、七十七條ノ二項ノ規定ト云フモノヲ見マスト、是ニハ「第二十條、第二十一條及第三十一條ノ規定ハ前項ノ契約證書ニ之ヲ準用ス」トアリマシテ、若イ條文ガ引用シテアリマス、デサウ云フ風デアリマス、第七十七條ト云フ餘程年取ッ番號ノ規定ヲ準用シテ居リマシテ、其規定ヲ調ベテ見ルト又若イ二十條而モ十九條ノ隣ニ居リマス所ノ二十條トカ、二十一條ト云フ規定ヲ準用スルト云フノデスカラ、ドウモ法文ノ體ヲ爲サヌト考ヘマスカラ、ソレヨリハ十條ノ四ノ二項ヲ「第二十條、第二十一條及第三十條ノ規定ハ前項ノ規定ヲ準用ス」、

サウ云フ風ニシテ置キマシテ、七十七條第二項ノ方ヲ「十九條ノ四ノ二項ノ規定ハ前項ノ契約證書ニ準用ス」トシタ方ガ、法文ノ條文配置ノ都合カラ考ヘマシテモ宜シイコトト考ヘルノデアリマス、此修正意見ヲ出シマス、ソレカラ三十三條ノ二デアリマス、是ハ文字ノ問題デアリマシテ、此原案ニハ「社債ノ總額ヲ數回ニ分子發行スル場合ニ於テハ其ノ各回ノ發行金額ノ引受ヲ以テ社債ノ總額ノ引受トス」ト書イテアル、立法上ノ趣意ハ是デモ分ラヌコトデアリマセヌケレドモ、ソレヨリハ「トス」ト云フコトハソレニ「準ス」ト云フコトニシテハドウカ、準ズデモ餘リドウモ完全デハナイト考ヘマスケレドモドウモ、「トス」ト云フヨリハ社債ノ總額ノ引受總額ヲ數回ニ分ケテ發行スルノデスカラ、各回ノ發行金高ノ引受ガ社債ノ總額ニマア準ゼラレルト云フンダカラ、準ズト云フ方ガ宜イデハナイカ、斯ウ云フノデ、準ズト云フコトニ修正ヲスベキモノダト、斯ウ云フ修正意見ヲ出シマス、ソレカラ第二十二條ノ第二項、第三十條ノ第二項、第三十五條ノ第二號ノ二、第四十條ノ第二項、第九十九條ノ第二項、ソレニ「社債カ其ノ總額ヲ數回ニ分子發行スルモノナル場合ニ於テハ」トアリマス、ソレハ「社

債ノ總額ヲ數回ニ分子發行スル場合ニ於テハ」ト修正スベキモノト思フ、現ニ原案ノ第十九條ノ二、竝ニ第十九條ノ三ニハ私ノ修正案ノヤウニ「社債ノ總額ヲ數回ニ分子發行スル場合ニ於テ」ト書イテアル、ソレガ第三頁ニ行キマシテ二十二條ノ二項ニナルト「社債力」ト云フノデ以テ、「ノ」ト言ハヌデ「其ノ」ト云フ字ヲ入レテ、ドウモ法文ノ用語ガ統一ガナイヤウニ考ヘルノデアリマスカラ、是ハ矢張り全部同ジヤウナ文字ヲ御使ヒニナッタ方ガ宜イカト考ヘマス、斯ウ云フ風ニ修正ヲシタイト云フ意見ヲ提出イタシマス

○政府委員(長島毅君) 私カラ意見ヲ申上ゲタイト思ヒマス、第一ノ問題ニ付キマシテハ、洵ニ御尤モノヤウニモ考ヘラレマカ、私共ノ考ヘデハ或ル回ノミノ社債權者ニ損害ヲ及ボスト云フノハ、モウ少シ具體的ニ損害ヲ及ボスヤウナ時ノコトヲ考ヘテ居リマシタノデ、擔保權ヲ全體トシテ實行スル場合ニ、成程多少皆其各回ノ社債ノ條件ガ違ヒマスカラ、其擔保權ノ實行ニ付テ利害關係ガ違ウカモ存ジマセヌケレドモ、是ハ或ル回ノミノ損害ヲ及ボスト云フ問題デナクシテ、矢張り全體ノ問題デ、今此所ニ擔保權ヲ實行スルノハ、物ガ安イカライケナイ、モウ少シ時期ヲ待ッテヤルト云フヤウナコトハ、是ハ甚ダ全體ノ問題ト云フ風ニ考ヘテ居リマス、現ニ、理由ノ所ニモ、或ハサウ云フ解釋ニナルノカモ知レヌガ、ト云フノデアリマスガ、實ハサウ考ヘテ居リマシタ、ソレデ例ヘバ此八十五條デ支拂ヲ猶豫スル、總社債權ノ支拂ヲ猶豫スルト云フヤウナ場合ニデモ利率ノ高イモノト安イモノトハ、猶豫スルモノニ付テ利害關係ガ違ヒマスケレドモ、ソレ等ノ點ハドウモ毎回ノ其各回ノヤツニノミ損害ヲ及ボスト云フ風ニハ見テ居リマセヌ、マア私共方考ヘテ居リマシタノハ各回ノ或ル回ノ辨濟期ダケヲ特ニ延バス、或ハ或ル回ノモノノ利率ダケヲ特ニ減ストカ云フヤウナ時ニ、或ル回ノミノ損害ヲ及ボス、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居ッタ次第デアリマス、尙ホ其優先株主總會ノ場合ノコトハ能ク私ハ存ジマセヌガ、寧ろ私ハ御教ヘテ請ハナケレバナラヌト思ヒマスガ、優先株主總會ニ、斯カル場合デモ積立金ヲ澤山置イテ、成ルベク堅實ニシテ置ケバ、サウシテ普通株主ノ方ノ配當ヲ減ジテ置ケバ優先株主ニハ得デアリマスシ、逆ニ行ケバ損デアリマスガ、是ハ反射的ノ場合デ反射的ニ行クトカ、或ハボンヤリ行クヤウナ時ハイカヌ、詰リ何デスナ、

特ニ其條件ヲ變ヘルヤウナ場合トカ、其回ノ社債權者ノミニ損害ヲ及ボスト云フ積リテ書イタコトハ書イタノデアリマス、サウ云フ風ニハ取レナイデセウカ、サウシマセヌト、ソレニ類似シタヤウナ場合デ、ドウモ或ル回ノミニ社債權者ニ損害ヲ及ボスト解釋ガ但書ヲ入レル爲ニ擴ガテ來ル處レガアリハシナイカト思ヒマス

○岩田宙造君 私モ一點修正ノ意見ヲ述ベ

タイト思フノデアリマスガ、是ハ全體ヲ通ジマシテ尙ホ外ニモ多少意見ガゴザイマスルガ、政府ノ御希望モアルノデアリマスカラ、細カイ點ハ別ニ致シマスガ、唯一點ダケ、ドウモドウ御急ギニナッテモ修正シナイト云フト、實際ノ運用上困リハシナイカト思フ所ガアリマスカラ、其點ダケヲ申上ゲタイト思フノデアリマス、是ハ只今述ベラレマシタ岸君ノ御修正ノ意見ト關聯ラシテ居ル點モアリマスカラ、便上同時ニ此考ヘテ願フタ方ガ宜イカト思フノデアリマス、ソレハ前回以來色々御質問モ致シマシタ社債權者集會ニ關スル點デアリマスガ、御承知ノ通りニ、今回ノ社債ノ總額ヲ數回ニ分テ發行スルト云フノハ、例ヘバ三千萬圓社債ヲ發行スルト、之ヲ三回ニ分テ一千万圓ツツ發行シタイ、其時期利率等ハ、

是ハ三回毎ニ違テモ……無論時期ハ違フノデアリマスガ、利息其他モ三回毎ニ違フテ宜シイコトニナッテ居ルノデアリマス、サウシテ此各回ヲドウ云フ風ニ此法律關係ニ於テ見ルカト申シマス、社債權ノ總額トシテハ、何處マデモ三千万圓ト云フモノヲ、一ツヲ押ヘテ、三千万圓ダケガ社債ノ總額ダ、斯ウ押ヘテアルノデアリマス、唯ソレニ一ツ違ヒマスルノハ、社債一引受ケル場合ニハ、其中ノ第一回ノ一千万圓ナラ一千万圓ダケヲ引受ケル人ガアル時ニハ、其引受ノ關係ニ於テノミ之ヲ獨立ノ社債ト同シヤウニ見マシテ、其一千萬圓ダケヲ總社債額ト見ル、其他ノ關係ニ於テハ三千万圓ガ何處マデモ總社債額デアッテ一千万圓ハ總社債デナイ、斯ウ云フ立場デ出來テ居ルノデアリマス、ソレデアリマスカラ、社債權者集會ヲ招集スルト云フ時ニハ、何時デモマア第一回ダケシカ募集シナイ時ハ別デアリマセウケンドモ、三回既ニ募集済ミニナッテ後ニ於テ申シマス、何處マデモ此三千万圓ノ全部ガ何時モ舞臺ニ出テ來ルコトニナッテ居ルノデアリマス、サウシテ或ハ支拂ヲ猶豫スルトカ、或ハ一部責任ヲ免除シテヤルトカ云フヤウナ場合ニハ、何時デモ三千万圓ヲ

土臺ニシテ、先刻モ質問イタシマシタヤウニ、三千万圓トシテデナケレバ扱ハレナイコトニナッテ居ルノデアリマス、ソレカラ特別株主總會ト同シヤウニ、或事項ニ付テハ特別決議ト云フモノガアリマシテ、マア其中ノ條件ノ一ツニハ、社債總額ノ半額以上ノ債權者ガ集マラナケレバ決議出來ナイ事項ガアル、サウ云フ場合デモ、三千万圓ト云フモノヲ押ヘテアリマスカラ、一千五百萬圓以上ノ債權者ガ集マラナケレバ決議ハ出來ナイト云フヤウニ、サウ云フ場合ニハ何時デモ三千万圓ト云フモノヲ押ヘテアルノデアリマス、ソレデアリマスカラ、此儘ニシテ置キマスルト云フト、ドウ云フ差支ガ起ルカト申シマスルト云フト、色ミノ點ニ於テ差支ヲ生ズル、最モ私ハ著シク困ルト考ヘマスルノハ、一千万圓ダケノ第一回ノ社債ガ満期ニナリマシテ、其支拂ヲシナイ、之ヲ一部或ハ猶豫シテヤルトカ、或ハ一部免除シテヤラウトカ、利息ヲ負ケテヤラウト云フヤウナ時ニデスネ、利害關係ヲ持ッテ居ルノハ最初ノ一千万圓ノ社債權者ダケガ利害關係ヲ持ッテ居ルニ止マルニ拘ラズ、三千万圓ノ全體ヲ基礎トシテ、社債權者集會ヲ招集シナケレバナラスト云フコトニナリマスカラ、三千万圓ノ中ノ一千五

百萬圓ヲ持ッテ居ル人ヲ招ビ集メナケレバナラスト云フコトニナル、サウデナクテモ社債權者集會ハ現在ニ於キマシテモ、非常ニ人ヲ集メルノニ困ルノデアリマス、株主總會ト違ッテ名簿ガアル譯デハナシ、公告シテ、サウシテ大抵無記名債權デアリマスカラ、ソレヲ皆供託シテ……ソレニ出ヤウト云フ人ハ、其社債權ヲ何處カヘ持ッテ行ッテ供託シテ、ソレカラデナクテハ出ラレナイノデアリマスカラ、社債權者集會ト云フモノハ非常ニ面倒ナモノデアリマス、ソレデアリマスカラ、利害關係ヲ持ッテ居ル一千万圓ノ社債權者ダケヲ集メヤウトシテモ容易ニ集マラナイモノガ、全ク利害關係ノナイアトノ二回三回ノ人マデ集メナケレバナラスト云フノデアリマスカラ、是ハ到底集マリコハナイト思フノデアリマス、デアリマスカラ、此通りニシテ置キマス、社債權者集會ト云フモノハ何時モ不成立ニナル、ノミナラズ集マリマシテモ、マダ一千万圓ダケ、第一回ダケガ辨濟期ガ來テ滞ッテ居ルノデアリマスカラ、ソレヲ猶豫スルトカ、利息ヲ負ケルトカ云フノハ、第一回ダケデアルニ拘ラズ、其決議ニハ利害關係ノナイ二回三回ノ人ガ集ッテ決議スルト云フコトニナル、デ是ハ決議シテモ、先刻モ民事

局長ノ御答辯モアリマシタ通りニ、一回ダケガ問題ニナッテ居リマスケレドモ、一回ダケヲ猶豫スルト云フコトハ出來ナイコトニナルト云フノハ、其場合デモ總社債ノ猶豫ナラ出來マスケレドモ、一部ノ猶豫ハ出來ナイト云フコトニナリマスカラ、而シテ此總社債ハ何時デモ五千萬圓ハ抑ヘテ居リマスカラ、今又問題ニナッテ居ルノ八千萬圓ダケデアリマスカラ、千萬圓ダケノ利息ヲ負ケテヤラウト云フコトハ、シャウトシテモ出來ナイコトニナル、是モ一ツノ不都合デアアル、若シ是ガ出來ルトシテモ尙ホ不都合デアアル、一千萬圓ノ利害關係者デナイ外ノ人ガ大勢出テ來テ、二回三回ノ人ガ大勢出テ來テ、サウシテ自分等ニ利害關係ノナイ第一回ノ人ノ責任ヲ問題トシテマケテヤラウトカ云フ決議ヲサレテハ、ソレコソ尙ホ困ル、尤モ此場合ニハ千萬圓ダケノ又社債權者ノ同意ヲ得ルト云フコトニナッテ居リマスケレドモ、サウ云フ場合ノ爲ニ、是ハ出來テ居ルノデアリマセウガ、少クトモ此全ク利害關係ノナイ人ガ集、テ、サウシテ外ノ人ノ金利ヲ低ウシテヤルトカ、利息ヲマケテヤルトカ云フヤウナ決議ヲスルト云フヤウナコトハ、第一ノ不合理デアアル、ソレカラ尙ホ此社債ヲ一手ニ引受ケタ者ハ社債權者集會

ヲ招集スルコトガ出來ルコトニナッテ居リマス、ナッテ居リマスルガ、今度ハ其關係ガドウナリマスカ、第一回ダケヲ引受ケタ人デア、テモ全部ヲ一手ニ引受ケタ人ハ、引受ノ關係ニ於テハ總社債ヲ引受ケタト同ジヤウニ扱カハレルト云フコトニナッテ居ルノデアリマス、而シテ總社債ヲ引受ケタ者ナラバ、社債權者集會ノ招集ガ自分デ出來ルト云フコトニナッテ居リマス、ナッテ居リマスルガ今ノヤウニ是ガトシテ引受ケタナリマシテ、引受ケタ方ハ總社債ヲ引受ケタト云フコトニナッテ居リマスケレドモ、是ハ第一回ダケノシカ引受ケテ居ラス、サウシテ社債權者集會ハ二回三回ノ人モ皆呼集メナケレバナラヌト云フコトニナルト、ドウ云フコトニナルカ、是モ一ツノ疑義ヲ免ガレナイコトニナリハシナイカ、サウスルト第一回ハ一手ニ引受ケタガ、ソレカラ二回三回ハ別ノ人ガ一手デ引受ケタト云フトキニハ、此三人ガ共同シナケレバ出來ナイコトデアアルカ、或ハ共同シテモ出來ナイデアアルカ、ソレカラ一回二回ハ甲乙ガ一手デ引受ケタケレドモ、三回ダケハ一手デ引受ケナイデ、全部公衆募集ヲシタト云フヤウナ場合ニハ、結局一回二回ノ人ハ總社債ヲ引受ケタト云フ取扱ハ受ケルニ拘ラ

ズ、社債權者集會ヲ招集スルト云フ關係ニ於テハ、其特權ガナクテ、招集ハ出來ヌト云フコトニナリマスカ、斯ウ云フ所ニモ非常ニ疑問ヲ生ズルノデアリマス、不都合ヲ生ズルノデアリマス、斯様ナ關係デゴザイマスカラ、私ハ矢張り此各回ノ社債ニ付キマシテハ、社債權者集會ノ關係ニ於テハ、ソレヲ獨立ノ社債權ト同ジヤウニ見ルト云フ方ヲ原則ト致シマシテ、併シナガラ是ハ擔保ガ共通ニナッテ居ル、擔保ガ共通デアルト云フコトダケガ外ノ回ノ債權者ト其點デ接觸シテ居ルノデアリマスカラ、外ノ點デハ關係ナイノデアリマスカラシテ、關係ノナイ點ノ方ガ廣イノデアアルカラ、事柄ガ多イノデアリマスカラ、先ヅ原則トシテ、ソレハ獨立ノ社債ト見テ、社債權者集會ナリ其他ノ手續ヲ皆定メマシテ、外ノ回ノ社債權者ト連絡ノゴザイマスカラ、關係ゴザイマスカラ此擔保權ニ關スル點ニ於テ、外ノ回ノ社債權者集會ノ決議モ必要トスルト云フコトニ、此原案ト比較シテ見マスカラ、此云フト、原則ト例外トヲ顛倒シタ方ガ、此理論ノ上カラモ、實際ノ上カラモヨイノデアナイカト考ヘルノデアリマス、丁度原案デモ引受ノ關係ニ於テハ、各回ノ社債ヲ一手デ引受ケタ人ハ、之ヲ總社債ヲ引受ケタ

者ト同ジヤウニ扱フト云フコトニナッテ居リマスカラ、ソレヲモウ一步進メテ、外ノ社債權者集會等ノ關係ニ於テモ各回各之ヲ獨立ノ社債權ト同ジヤウニ扱ヒマシテ、他ノ回ノ社債權者ニモ利害關係ヲ及ボスベキ事項ニ付テハ、他ノ回ノ社債權者集會ノ決議モ必要トスルト云フコトニ、原則ト例外トヲ是非ハ換ヘテ欲シト思フノデアリマス、私ハ其具體的ノ案ヲ備ヘテ居リマセヌガ、是ハ他ノ條文トモ色ミヨク調査スル必要モゴザイマスカラ、私ノ希望ト致シマシテハ、形ハ誰ガ提出シタト云フトコトニナッテモ便宜上差支ゴザイマセヌガ、實質ハ一ツ政府ノ方デ若シ御同意デゴザイマスナラバ、サウ云フ趣旨ノ案ヲ一ツオ考ヘテ願ヒタイト思フノデアリマス、サウ云フ意見ヲ申上ゲテ置キマス

○委員長(富谷銈太郎君) チョット私ガ心付イタコトヲ申上ゲテ置キタイト思ヒマス、此案ハ本來ガ餘程難シイ案ト私ハ見テ居リマスガ、司法當局ノ御方モ定メテ御研究ニハナッ、タノデアリマセウガ、如何デアリマセウカ、マダ二十六日マデハ……兎モ角モ二十日過ギマデハ議會ガアルノデスカラ、一ツ篤トオ考ヘ下サルコトニシテ、モウ一回此會ヲ開イテ色々討議ヲシテ、

委員會ヲソレテ了シタイヤウニモ考ヘルノデアリマスガ、ドウデゴザイマセウカ、政府ガオ急ギデアルト云フコトデアアルガ、幾ラ急イデモ、悪イ法律ガドサリ出テハ困ル

○岸清一君 私ハ只今岩田委員ノ御意見ニ全然同意デアリマス、今六十七條ノ二ノ第一項ニ關スル政府委員ノ反駁モ聞キマシタケレドモ、私ハドウモソレハ感服シナイ、兎ニ角擔保權ノ實行ト云フコトガ一番肝腎デアリマスカラ、此コトニ付テハドウノ同ノ社債權者集會デ異議ガアラウトモ、全部ノ社債權者ノ集會デ決議ガアッタナラバ、必ズ是ハ實行出來ルト云フコトヲ明カニシテ置キタイ、此點ニ付テモ政府ノ方デモ、此「ノミ」トアルカラ斯ウ云フ解釋ガ出來ルナント仰有ラズニ、明白ニ一ツノ明文ヲ御置キ下サルヤウニ御考ヘ直シテ願ヒタイノデアリマス

○政府委員(長島毅君) 岩田委員ノ説ニ私ハ決シテ反對デハナイノデ、其點ハ非常ニ考ヘタト云フコトヲ申上ゲタノデアリマス、實ハ其點ハ餘程考ヘマシテ、今ノ總額ノ引受トアル場合ニ、其回ダケノモノヲ引受ケタヤツガ一體社債權者集會ノ招集ガ出來ルカドウカト云フコトハ、是ハ仰セノ如ク

ク多少チグハグニナリマスガ、其回ノ者ガ引受ケタノハ矢張り全體ノ社債權者集會ガ招集出來ルト云フコトニ一先ツ此際ハシテ置イタラドウカト云フコトヲ考ヘタノデアリマス、ソレカラ或ル回ノ利息ヲ減ストカ、責任ヲ幾ラカ緩クスルトカ云フヤウナコトハ、成程他ノ回ノ者ニハ利害關係ハナイノデアリマスカラ、ソレヲ彼是他ノ回ノ者ニ云ハセル、詰リ社債權者集會デ彼是云ハセルノハ成程變デアリマスケレドモ、其利害カラ申セバ、マサカニドウモ其回ノ利息ヲ低クスルトカ、外ノ回ノ利息ヲ高クシテハイカスト云フコトハ申スコトモナカラウ、又外ノ總會デ以テソレヲ無暗ニ低クスルコトニ同意シテモ、其回ノ者ガ同意シナケレバヨイノダカラ、實質ニ於テハ變リハナイト思フ、タダ仰セノ如ク集マリニクイト云フコトハアルコトデアアルケレドモ、現在デモ集リ惡イト云フコトハアルノダカラ、ソコマデ徹底的ニ行カナイデ、コソリ社債權者集會ト云フモノハ其儘ニシテ置イテ、サウシテ特別ニ會ニ及ボス時ダケサウ云フ風ニ諮ル、成ルタケマア此法案ハ其儘ニシテ置イテ、サウシテ成ルタケ現狀ヲ維持シテ、此場合ハ應急的ノ「モルゲージ」ヲ發行スル程度ノ應急的ノモノトシテ置ク、

併シ全部修正シナケレバナラスト云フ趣旨デヤッタノデ、岩田委員等ノ御疑問ノ點モ考ヘルコトハ考ヘタノデアリマス、併シ又再考シテ見ルノモ無論一案ト存ジマスガ、御疑問ノ點ハ考ヘテ作ッタコトハ、作ッタト云フコトダケハ御諒解ヲ願ヒマス

○岸清一君 モウ一言申上ゲタイ、日本ノ經濟界デ斯ウ云フ風ナ改正ヲ要望シテ居ルト云フコトハ事實デアリマス、ケレドモ是ガナケレバ所謂「オーブン・エンド・モルゲージ」ヲ數回分ケテ發行シテ、皆是ヲ同順位ニ附スルト云フコトハ全ク不可能カト云フトサウデモナイ、現ニ私ガ關係イタシマシタ東邦電力ノ外債、日本電力ノ外債、東京電燈ノ外債、是ハ皆「オーブン・エンド・モルゲージ」ニナッテ居ル、信託證書ニ相當ノ規定ヲ設ケテ、詰リ第一回ノ擔保權者ガ、自分ハ將來此財產ニ付テ或ル制限ノ下ニ發行サレル第二第三ト云フ抵當ニ對シテハ、自分等ハ優先權ヲ主張シナイ、同順位デ宜シイト云フヤウナコトヲ約束イタシマシテ、其意味ノコトヲ適當ニ登記所ニ交渉ヲシテ登記ヲスレバ、矢張り登記ガ出來ルノデス、今申上ゲタ三會社ノ場合ニハソレハ皆ソレガ出來テ居ル、サウ急イデ不完全ナモノデモ何デモ此議會ヲ通サナケレバナラヌモノ

トハ考ヘナイノデアリマス、矢張り法律トシテ御出シニナル以上ハ相當ニ御練リニナッテ、大事ナコトダケハ矢張り規定シテ置イテ御通シニナッタ方ガ宜カラウト考ヘマス

○山隈康君 段々各委員カラ修正意見等モ出マシタガ、私ドモハ速記録ニ依ッテ此修正意見等ヲ能ク熟考イタシテ贊否ヲ決シタイト思ヒマス、委員長ノ御意見ノヤウニモウ一回御續行ヲ願ヒタイト思ヒマス、今直チニ贊否ハ決シ兼マスカラ……

○委員長(富谷銚太郎君) 只今ノヤウナ御注意モアリマスシ、此問題ハ随分ムヅカシイ問題ト私ハ考ヘテ居リマス、能ク分ランカ知ラヌガ……ソレカラ只今モウチット考ヘタイト云フ御考ノ委員モ御有リニナルノデアリマスカラ、少々ドウデス、モウチットソノ所迄歩ンデ行ッテ其コトハ考ヘテ見ヤウ、モウ今日通過シテシマハナケレバナラストカ、或ハ反對ノ意ガアレバ已ムヲ得ヌト云フコトニ迄行カヌデモ、ドウカサウ云フ風ニ行キマセヌカ、其方宜カラウト思ヒマス

○委員長(富谷銚太郎君) ソレデハ今日ハ此案ニ付テノ會議ハ是デ止メテ置キマシテ、

○政府委員(長島毅君) 能ク考ヘテ見マセウ

○委員長(富谷銚太郎君) ソレデハ今日ハ此案ニ付テノ會議ハ是デ止メテ置キマシテ、

モウ一回開キマシタ上デ、篤ト歩ンデ行ク

方ガ宜イダラウト思ヒマス、サウ云フ考デゴ

ザイマスカラ、ドウカ其積リデ……ソレデ

ハ次ニ裁判所ノ管轄ニ關スル案ヲ是カラ議

シマス、何カ御質問デモアリマスタラバ……

○山隈康君 二三御尋イタシタイト思ヒマ

ス、從來ノ裁判所ノ管轄區域ハ、主トシテ

行政區域ニ準據サレマシテ頗ル不便、不十

分ナ點ガ少クナカッタノデアリマス、殊ニ裁

判所ノ管轄ハ机上ノ議論デ決定シ得ベキ問

題デナクシテ、國民法律生活ノ實際ニ即シ

テ考慮スベキコトハ、勿論ノコトト存ジマ

スルガ、此管轄區域變更ニ對シマシテハ、

政府ノ方デハ町村長會トカ、或ハ辯護士會

トカ、其他民間ノ相當ノ機關ニ御諮問ニナッ

テ御決定ニナッタト云フノデアリマスガ、實

ハ昨日他ノ特別委員會デ政府ノ方ニ御確カ

メヲ致シマシタル所、ソレハ地方裁判所長

意思ハナイデアリマセウカト云フコト、ソ

レカラ第二ニハ裁判管轄區域ハ、管轄裁判

所トノ距離、交通機關、之ニ伴フ經費ト云

フコトガ管轄區域ノ決定ニ相當重要ナル資

料デアリマスガ、其外ニ私共ノ實際カラ致

シマスト、取引ノ關係、經濟分布狀態ト

云フコトガ、此管轄區域變更ニハ最重要

ナ點デハナカナウカト存ズルノデアリマス、

御配付ニナリマシタ参考書ニ依リマスト、

唯距離ト之ニ伴フ費用ダケデアリマシテ、

取引ノ關係トカ、或ハ經濟分布狀態トカ云

フヤウナコトヲ、一向御考慮ノ中ニ入レテ

ナイヤウニ存ゼラレルノデアリマス、私共

ノ極メテ狭イ地域ニ於キマシテモ、私共ノ

熊本縣デ、宇土郡一圓ヲ三角區裁判所管轄、

鹿本郡一圓ヲ山鹿區裁判所管轄ニナッテ居

ルヤウデアリマス、所ガ此鹿本郡ノ一部ノ

植木町、宇土郡ノ一部ノ宇土町ト云

ウデアリマス、是ハ一ツノ事例ニ過ギヌノ

デアリマスケレドモ、是等ニ類スル澤山

ノ例ガ他ニモアラウト存ズルノデアリマス、

將來更ニ是等ノ點ヲ御考慮ニナリマシテ、

管轄變更ノ案ヲ更ニ御提出ニナル御意嚮ガ

御アリニナルカドウカト云フ點デアリマス、

今一ツ是ハ少シ裁判管轄トハ縁ガ遠イヤウ

デアリマスガ、裁判管轄區域變更ト殆ド内

容ハ同一ニ解シマスト關係上、序ニ御伺シ

タイト思フノデアリマス、ソレハ十數年來

ノ懸案ニナッテ居リマスト長崎控訴院ノ移

轉問題デアリマス、尾崎司法大臣ノ時代ニ

一度政府デ提案ヲサレタガ、僅カナ數デ政

府案ハ通ラナカッタヤウデアリマス、是ハ長

崎控訴院ハ九州全體ヲ支配スルモノデアリ

マシテ、其裁判所ノ……控訴院ハ非常ニ偏

在シテ居ッテ、此移轉問題ト云フモノハ、政

府モ亦民間モ非常ニ翹望シテ居ル問題デア

ス、廳舎ガ非常ニ朽腐ヲ致シマシテ、毎年

補足的ノ修繕ヲシテ一時ヲ糊塗シテアリマ

シテ、非常ニ危險カトモ存ズルノデアリマ

ス、是等ハ裁判管轄區域變更ト同時ニ、政

府ノ方デハ何カ御考慮ニナッタコトガアル

ノデゴザイマスガ、此點モ併セテ御伺ヒシ

タイト思フノデアリマス

○政府委員(長島毅君) 今回此實質的ノ管

轄區域ノ變更トシテコトヲニ御協贊ヲ願ヒ

マシタ分ハ、是ハ最モ著シイ分デアリマシ

テ、此外ニモマダ澤山管轄ノ變更ヲスベキ

モノガアルト考ヘテ、現ニソレハ調査モ出

來テ居ルノデアリマスガ、何シロ此管轄ノ

變更ト云フコトハ、相當地元ニ利害關係ノ

多イコトデアリマスカラ、最モ其著シイモ

ノヨリ先ヅ假ニ出シテ見マシテ、幸ニ是ガ

兩院ヲ通過シマストルヤウデアリマストレバ、

漸次ニ其外ノ地方ニモ及ボシマシテ、漸次

司法省民事局長 長島 毅君

取引關係等ヲモ實ハ調査ヲ致シテ居リマスガ、表ナドデハ現シ惡イノデ、之ニハ現シテ居リマセヌ、ソレカラ人民ノ意嚮ト致シマシテ、是等ノ部分ハ何レモ皆數回地元町村カラ請願ガアリマシタノデ、尙ホ改メテ地方裁判所長カラモ地元ノ意見ヲ聽クコトニナラテ居リマシタガ、其ドウ云フ方法デ聽イテ居リマスカチヨット今存ジマセヌガ、兎ニ角是等ハ顯著デ、此分ダケハ慥カニ必要ナ分ダト思フテ居リマスガ、其外ノ分モ漸次一ツ調査ノ上、是カラ變更ノ取計ヒヲ致シ、法案ノ提出ヲ致シタイト云フ考デ居リマス、

五箇所デ、アトノ變更ハ非常ナ大キナモノデアリマスガ、實ハモウ是ハ町村名ガ變ラタノヲ唯整理シタダケデアリマス、衆議院デ出マシタ修正モ、此案提出後町村名ガ變リマシタリ、市ノ名前ガ變リマシタ爲ニ、寧ロコチラカラ希望シテ出シテ戴イタノデ、實質上ノ變化デハゴザイマセヌ

長崎控訴院ノ移轉問題ハ、大分是ハ大キナ問題デアリマシテ、チヨット私カラ御答スルノハ不適當ト思ヒマスカラ、ドウゾ御猶豫ヲ願ヒマス

午後二時三十七分散會  
出席者左ノ如シ

○委員長(富谷銚太郎君) 只今ノ御意見ハ承リマシタ、ソレカラ政府委員ノ御答モアリマシタガ、是ハマダ決メルコトモ出來ナイカラ……、ソレカラ問題ガ非常ニ大キイ、枝ガ大キク張リマスノデ……

- 委員長 富谷銚太郎君
- 副委員長 岸 清一君
- 委員
- 公爵山縣 有道君
- 子爵鍋島 直繩君
- 子爵近衛 秀麿君
- 山隈 康君
- 岩田 宙造君
- 水野甚次郎君
- 大和田健三郎君

○政府委員(長島毅君) 是ハ全ク形式上ノコトデ、御承知ノ如ク實際ノ變更ハ僅カニ

- 政府委員
- 大藏書記官 大野 龍太君